

Topics of the month

# FFGの法人分野におけるSDGsの取組み

## ～対話を重視したSDGs 目線での本業支援～

2021年8・9月合併号の  
記事はこちら



現在のビジネスの潮流を踏まえ、企業のビジネスモデル・経営計画検討において、SDGsの観点は外すことのできない重要なものとなってきております。そのような環境下、FFGでは、次のような4つの流れで取引先企業様へのSDGs導入に向けた支援を行ってまいります。

まずは、このあとご紹介しますスコアリングモデルサービス(以下、本サービス)の活用です。本サービスを利用することで、SDGsに向けた取組みを指標化・見える化できます。

次に、本サービスの評価書を基に、銀行と対話していただくことで、SDGs取組みの状況の把握や同業他社との比較などを行い、お取引先企業様と銀行との間でSDGs導入へ向けた課題の目線合わせを行います。

そして、優先課題の選定を行います。FFGでは選定した優先課題解決のため、ビジネスマッチングやSDGsマッピング(SDGs目線での事業の整理・棚卸し)をお

取引先企業様へご提案し、ともに課題解決を実践してまいります。

最後に、SDGsを経営に定着させるための社内体制の整備やSDGs関連目標の設定、中長期視点での経営戦略の策定、お取引先企業様のニーズに合わせた、事業承継やM&Aなどの事業継続のための具体的なご

スコアリングモデルサービスを活用した  
お取引先企業様へのSDGs取組み導入支援

### 評価実施

評価結果による銀行との対話

優先課題への対応

目標設定・経営計画への導入

▶お取引先企業様と銀行との対話機会を増やし、SDGsの切口から、幅広いテーマを取り上げること  
で、企業の持続成長に向けた支援につなげてまいります。

# FFGのサステナビリティ活動

～法人分野における新サービス「Sustainable Scale Index」～

近日取扱い  
開始予定

## FFGがスコアリングモデルサービスに取り組む意義

### Point1 地域のみなさまに活用いただける指標の提供

非上場企業のESG/SDGsの取組みを指標化したデータは少ない

対して

世の中には上場企業のESG/SDGsの取組みを指標化したデータは多い

地域企業と幅広くお取引頂くFFGが本モデルを構築し、多くの地域企業が活用することで、企業のESG/SDGsの活動を指標化し、地域のESG/SDGsの取組みに貢献できる

### Point2 九州大学との協業による独自の評価システムの構築

2021年4月1日にFFGが設立したSDGs支援子会社「(株)サステナブルスケール」は、国連の「新国富報告書」の代表を務める九州大学主幹教授の馬奈木俊介氏を取締役に迎え、SDGs評価における新しい"ものさし"を創り、SDGsの取組みを適切に評価・発信し、地域社会の健全な成長に貢献することを目指します。

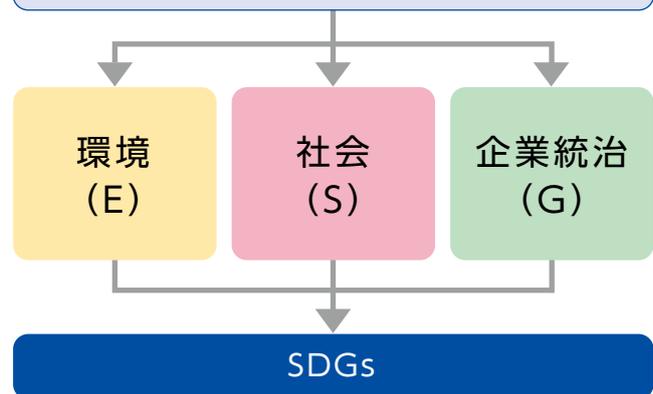


Sustainable Scale



ふくおかフィナンシャルグループ

およそ200の評価項目(九州大学と協業)



支援も進めてまいります。

本サービスについて、世の中には上場企業のESG/SDGsの取組みを指標化したデータは多く存在しますが、非上場企業のデータはあまり存在しません。そのため、FFGが本サービスを提供することで、地域の企業のSDGsへ向けた取組みに貢献できると考え、九州大学と協業し、独自の評価システムを構築しました。E(環境)、S(社会)、G(企業統治)及びサステナビリティに関連する評価項目にご回答いただくことで、ESG/SDGsスコアが算出される仕組みです。

FFGは、本サービスを起点に、お取引先企業様との対話を増やし、SDGs観点から、より深くビジネスを理解することで、SDGsへ向けた取組みの本格始動を支援いたします。将来的には、本サービスをFFGの活動エリアにおけるSDGs評価の標準形とすることを指すとともに、お取引企業様の持続成長に向けた支援につなげてまいります。